

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節美
 幹事 石黒 正則
 会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No. 41

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会
 第808回 平成11年6月8日(火)

新入会員歓迎夜間例会 於：松楓閣

先週の記録
 第807回 平成11年6月1日(火) 晴

◆ “君が代” “それでこそロータリー”

◆黙想 ～日の丸～

◆出席報告

会員	68 (66) 名	出席	48名
出席率	72.73%		
前々回	5月18日	(修正出席率)	100%

◆ビジター紹介 6名

◆ゲスト紹介

桜花学園高校 IAC顧問 河合 保昌先生
 米山奨学生 ウディン エムディ ザイール君

◆今月の会員誕生日

浅井君 (6/1)、小杉君 (6/11)、魚津君 (6/11)
 三輪君 (6/22)

ニコボックス

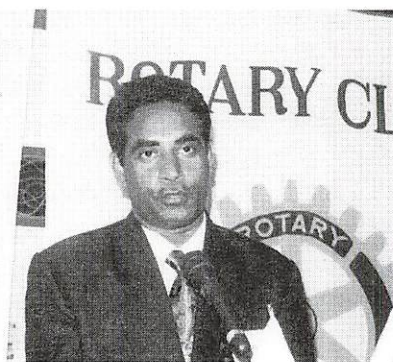
在田 忠之君 季楽会一年間ありがとうございました。次年度もよろしく願い致します。
 小坂井盛雄君 6月になり良い日々です。
 水野 民也君 台湾 高雄に行ってきた。
 成田 良治君 加藤大豊さん、今日は忙しいのに有難うございました。
 吉田 節美君 あと1ヶ月です。
 秋山 茂則君 笹野 義春君 早退させて頂きます。
 小山 雅弘君 大口 弘和君 大谷 和雄君 第1回ライラ実行委員会よろしくお願ひします。
 三好 親君 水谷 祥督君 和田 正敏君 米山奨学生のウディン エムディ ザイール君を迎えて
 青山 敏郎君、萩原喜代子さん、林 哲央君、石黒 正則君、伊藤 健文君、伊藤田博明君、神崎 住恵さん、加藤 重雄君、加藤 大豊君、菊池 昭元君、黒須アイ子さん、丸山 昌宏君、中井 常雄君、中山 信夫君、佐久間良治君、佐野 寛君、鈴木 正男君、

鈴木 理之君、舎人 経昭君、山田 壽勝君、山本 眞輔君、吉田 玄君 衣替えの季節になりました。
 魚津 常義君 米山奨学生ウディン エムディ ザイール君を紹介致します。誕生日祝い
 鷺谷 龍男君 夫人誕生日祝い
 ※5月11日にご講演下さいました日本グリーンビルディング協会の浅井充彦様より講演料を何かに役立てて頂きたいとニコボックスへご寄付頂きました。

石黒幹事報告

1. 本日午後6時30分より木曾路(瓦町店)にて、ライラセミナー実行委員会を開催致しますので、担当の方はご出席下さい。
2. 次回例会は、夜間例会で午後6時より松楓閣にて開催致しますので昼間の例会はございません。
3. ロータリーの友6月号とロータリー手帳が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

米山奨学生 ウディン エムディ ザイール君挨拶



皆さん こんにちは
 私はバングラディッシュから来ましたウディン エムディ ザイールです。まだ日本語はうまく話せません。今、私は名工大の博士課程の2年生です。最新の技術を習うため日本に来ました。私の国ではロータリーの人はエリートの集まりです。日本もそうだと思います。沢山のエリートの方々に会えて嬉しいです。そしてこの奨学金はとても助かります。ありがとうございました。

吉田（節）会長挨拶

本日は私共の仕事に関係する接着剤のお話しをしたいと思います。むつかしい学術的なお話しは抜きにして糊の時代から、接着剤へ移行する段階に於いて糊にちなんだ色々面白い話が残って居りますので今日は江戸時代の接着剤即ち糊についてお話しをして見ようと思います。

浪人が裏長屋で傘貼りをして居るのはテレビの時代物でよく見かける風景であります。その時どんな糊が使われていたか気にとめる人は全くないと思います。でもちょっと考えて見ますと雨がかかるのだから水に強い耐水性のある糊でなければなりません。耐水性の糊が果して江戸時代にあったらどうか、と首をひねる筈である。

これを解決したのが先人の智慧であります。傘貼りの糊については断片的な記述はいろいろありますが、まとまっているのは享保17年（1732年）に三宅也来と言う人に依り発表された「万金産業袋」（バンキンスグワイブクロ）であります。から傘製造法が糊の処方と共に出て居りまして「糊の炊きよう→上わらびの粉一升に水2升入れ煮るなり、すりこぎにてかきまわし加減よく、よく煮えたる時すり鉢にあげ、洪を少しずつ見はからいに入れ、すりこぎにてねる、ずい分ねる程よし」柿洪をデンプン水溶液に混合する事に依って洪の中のタンニンがデンプンに作用して耐水性をもった糊となる訳であります。そして使用するデンプンはわらびデンプンがねばりが強く最もよいと言われて居ります。

わらび糊はわらびの地下茎を採取して、よく洗ってから水の中で臼で挽くとデンプンが分離して下に沈む、これを乾燥してふるいにかけて皮の部分を除くと、わらびの粉が得られます。今は、わらび餅をつくるのに使われていますが昔は食糧であったと共に重要な接着剤の原料でありました。又わらびは日本では大変なじみ深い植物であります。世界各地でも自生して居ります。そしてわらびは又代表的な山菜料理でアクヌキして煮物、アエ物、塩漬にするが欧米では食べる習慣がなく、古代には食べたとか、飢饉のときには食べたと言われて居ります。

外国の文献では、わらびを接着剤の原料とした例はない様であります。併し乍ら今は、傘貼りに、わらび粉は使われて居らず、輸入のタビオカデンプンが主流になって居ります。そして以前は日本各地で傘貼りが行われて居りましたが、いまはほとんど岐阜市のJR岐阜駅の南側の加納と云う所で作られて居り、番傘、蛇の目傘の産地は一応岐阜と言われて居ります。傘貼りに、浪人と言った暗いイメージがありますが、産地の岐阜などでは、そんな暗いイメージは全くなく、一つの産業として番傘、蛇の目傘、油紙と共に岐阜の代表的な特産品となって居ります。

以上、江戸時代に用いられた接着剤の一端をお話しして本日の会長挨拶とさせていただきます。

IAC今年度活動報告 桜花学園高等学校 IAC顧問 河合 保昌先生



皆さん、こんにちは。

今日皆さんのお手元に「歩み」という冊子と1枚の紙をお配りしましたが昨年度の活動報告を中心に日頃インターアクトがどんなことをしているのかご理解を頂くと共にご支援頂きたく伺いました。

この冊子も第4号となりIACが創立されて今年5年目を迎えました。

IACの目標は「国際理解」「国際交流」「社会奉仕」を基本にボランティア活動を中心に様々な活動に参加しようと、校外活動（特別活動）として西春町での活動やねんりんピックの参加、昭和区の「わだちまつり」参加等積極的に行ってきました。

校内活動では、人前で発表する力をつけようと3分間スピーチをしたり、手話の勉強を続けています。

新たにディベート大会にも参加するなど、今年も幅広い活動をしていきたいと考えています。そして様々な活動を通し、生徒達の将来に生かしていければと思っています。

又、使用済切手回収のお願いですが、使用済でも国内にはコレクターがおり、記念切手は価値もありますので売って換金して福祉施設への資金としています。ご面倒ですが使用済切手が集まりましたらロータリークラブ事務局にお預け頂くかIACまでご連絡を頂ければ回収に伺いますので、ご理解とご協力をお願い致します。

地区協議会報告

◆和田 正敏 会長エレクト



1999～2000年度 地区協議会

日時：平成11年5月8日

会場：名古屋国際会議場

午前の部は本会議、午後の部は第一分科会〔会長、幹事〕に出席した。本会議は国際会議場大ホールで開催され、登録者1725名と大変多く立ち席の方もみえました。何時もの様に挨拶があり、メンバー紹介がすみ、

地区ガバナーノミニー野村重彦氏が、新しい年度の目標について発表された。

今回、私は会長の立場もあり、真剣に話を聞こうと思いました。しかし、我々グループは辛うじて最後尾の席で、壇上は遥か彼方です。ガバナーノミニーの顔は点でした。会場内の熱気と、更に悪い事にマイクの声が割れ、スピーカーからはノイズしか聞き取れませんでした。

この会議場は、名古屋の建物としては、おしゃれな方で、私たちの関係する学会等でも良く使用します。しかし、建物内の案内掲示がとて解りにくく、また各会議室への連絡がとて不便です。今回、中ロータリークラブがホストクラブを担当され、各メンバーの方が会場のいたる所で案内をされていましたが、大変苦勞されたと思います。我々のような少人数のクラブでは、この会場を使いこなすことはとて無理だと考えました。

新しい年度の目標について、1999～2000年度 国際ロータリーのテーマ、ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続です。国際ロータリー会長は、イタリアの方で、名前はカルロ・ラビッツァさんです。産業用コンビナートおよびオフィス・ビルのデザインを専門とする建築事務所の経営者です。ヨーロッパの、それもイタリアの方らしく今までにない、シンボルマークのデザインをされ、ロータリーのシンボルカラーもオリーブ色です。今までの、派手さと違う、何か？を感じさせそうです。

第2760地区のガバナー方針は「語り合おう。そして見つめ直そう ロータリーのロマンを！」～新しい世紀の礎を築くために～です。ガバナーは刈谷の方で、野村重彦さんです。歯科医院の理事長さんで、我々のメンバーの三輪先生と大口先生の先輩に当たられる先生で、まじめで紳士的、行動力のある方の様です。我々のメンバーをミックスしたような印象です。

今回の報告で、R. I. 会長のテーマやガバナーの方針を話してしまうと、新年度の話のネタが無くなりますから、次回をお楽しみに！

午後からは1～9の分科会に分かれました。私と田部井氏は、第一分科会に出席しました。テーマは、会長、幹事の役割と組織運営の基本でした。色々な話がありましたが、どうも、勉強不足なのか、充分理解できず、自分の都合の良い事しか聞こえませんでした。司会進行の地区幹事さんは、ロータリー2000をロータリー・ツーオーオーと声高々に元気良く掛け声をあげよう。内藤ガバナーは、「皆さんは、既に心の準備を成され、一年の計画も出来あがっているものと思います。ロータリーの特徴は、単年度の事業です。会長、幹事の考えで思いのままに運営すれば良いのです。今までの行事に矛盾を感じたらやめれば良いのです。」と話されました。

地区幹事からは、ロータリー全体が巨大化しています。やらなければ成らない事があり過ぎるようです。ガバナー事務所とは別に地区事務所も開設されました。地区事務所は、対外的な活動、特に新世代の人達（日本

人、外国人）との接点のある委員会と財団関係等の継続していかねばならない仕事を行うとのことでした。

ライラについては、野村ガバナーノミニーは、各クラブより二名以上の方を参加させてください。全クラブの参加を希望する！との、熱いメッセージがありました。

◆青山 敏郎 次年度職業奉仕委員長



地区協議会第3分科会（職業奉仕）に出席して下記の事柄について発表があり大変勉強になりました。

1. 職業人の心です

よきメンバーと交友によって職業人の心を養い、自己の職業を世の中に一層役立ていく。

2. 約束していただきたい二つのこと

(1) 誰が偉いのもなく、奉仕の理想の下に平等です。

(2) 24もの専門委員会がありますが、これはスタッフであるがゆえにどこまでもラインからの要請に応えるものであって、それ以上でも以下でもありません。

以上を中心に1923年のセントルイス宣言により職業奉仕を進めるべく努力がなされ、今日の職業奉仕が活発化され定着して来た、詳しくは手続要覧の77頁を熟読して下さいで終わりました。

酒井 淳二君 退会挨拶

私事 来る本年5月28日の株主総会をもって取締役を退任いたしますので、本年5月をもって退会致したく御届け申し上げます。短い間でしたが、皆様の暖かい心に接し感謝申し上げます。なお、交替会員として取締役就任予定の星ヶ丘店長 小林俊幸を予定して居ります。

皆様の御承認が得られましたら、私同様暖かい心で、御引立賜ります様御願ひ申し上げます。

大変有難うございました。なお、私の今後は、特に6月は大変忙しく現在手がけて居ります仕事もあり、当分顧問として会社に貢献してまいる所在です。

皆々様の益々の御活躍を祈念いたします。

◆次回例会（6月22日）

講演 “科学の発達と20世紀” の困惑

会員 水野 宏君

ロータリー精神

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区
ガバナー 内藤 明人

ガバナーとしてのこの一年を振り返って見て、何を感じたかといえば「ロータリー精神」だと思えます。

ポールハリス氏により、ロータリー運動が始まって95年（1905年設立）、この間この運動に共感するもの相集まり、米国はもとより、日本には1920年米山梅吉氏により始められ、現在では全世界で地区数527、国家数159、クラブ数28,531、会員総数1,193,376名の多きに達しています。

ご案内のように1900年初めといえば、世界的に経済大不況の時であり、これは産業革命以来動力の発明による、人間の手足の代行品の利用により、人間に幸福を与え、生活に、社会に国家へとしあわせの広がりをみせてきました。

然し、機械により作られる物質価値偏重は世に満ちたり、次への破壊技術革新がないと産業重視の国は不景気におそわれるという弱点を味わうようになりました。物や金が巾をきかず世がおとろえると自然に人間は人への思いやり、社会への奉仕の精神が落ちるものです。即ち昔から、物満ち足りて例説を知るといわれ、ポールハリスも米国社会を見、「親睦と奉仕」により、友人知人手をつないで、より良き社会をつくろうという趣旨で始まったものと思えます。

ロータリー活動が始まって約一世紀後の今日、日本ではご案内のように経済的に不振な年が続き、社会的に青少年から大人まで、日本人として有史以来稀にみる心の不毛の時代に陥っています。

これを正常化するには「ロータリー活動」が最適だと考えるのは私だけでないでしょう。

今年度のR I レイシー会長は「ロータリーの夢を追い続けよう」と提唱され、当2760地区はその夢を三つの目標に託しました。

- ①ユーイズムをもとう
- ②新世代に光りを
- ③奉仕の実感を共有しよう

これらを我々の社会で各角度から行動に移し、提唱することにより多少なりとも我々の社会がより住みよい、より明るい、より幸せな社会になることを念願しているものです。

幸いにしてこの一年、各分区代理の皆様はガバナーと文字通り、心身一体の気持ちでご活躍頂き、各IMが夫々の地域の特性を生かし活発に開かれたことに心から感謝申し上げます。

また、各RCにおいても、ガバナー訪問の折の各クラブの報告において、この社会経済情勢の厳しい折にかかわらず、ロータリー創始の精神を生かしながら、社会奉仕に、青少年奉仕に、国際奉仕に、職業奉仕に、クラブ親睦に活発に活動しておられる姿を見、流石に「ロータリアン」だなと感じた次第です。

本年度も後少なくなりました。各ロータリークラブ、ロータリー精神を生かし、更なる活躍をお祈りする次第です。